

チバニアン・本の紹介

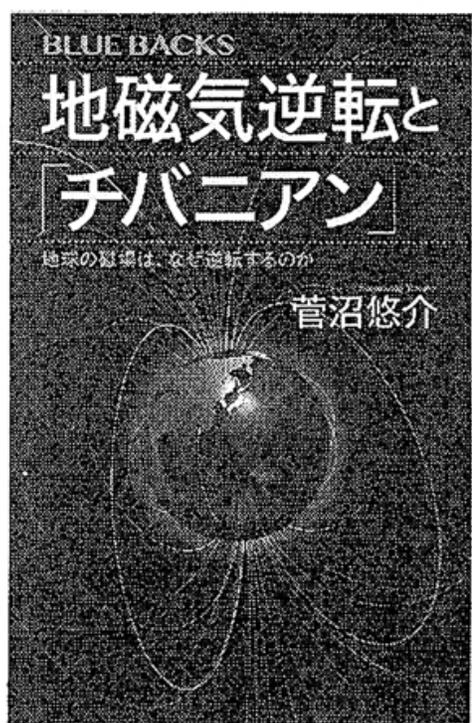
(伊那谷自然友の会報 209号より)

■本の紹介

(飯田市 下平 勉)

『地磁気逆転と「チバニアン」』

菅沼悠介 著 (ブルーバックス 講談社、1100円)



著者の菅沼悠介さんは、松川町元大島出身。飯田高校から茨城大学—都立大修士—東大博士を経て、現在国立極地研究所地圏研究グループ准教授。ニュースにもなった地質年代名「チバニアン」申請論文の執筆責任者をつとめました。大学

時代から古地磁気を専攻し、修士課程では伊那谷の古地磁気と火山灰層を研究。現在は、南極氷床変化と地球温暖化の関係を野外調査で解明しようとしています。この本では、磁石発見の歴史から説き起こし、地磁気逆転が地球史に持つ意味を中心に説明しています。特に「チバニアン」認定までの過程は、申請チーム中心者である彼にして執筆できる内容となっています。なお海洋底生生物のイラスト提供者の野牧秀隆博士は、飯田高校の1年後輩で、東大博士課程で菅沼さんと机を並べた深海研究者です。